

(令和3年10月試験研究業務月報)

試験研究課題：磯根資源総合管理技術開発研究

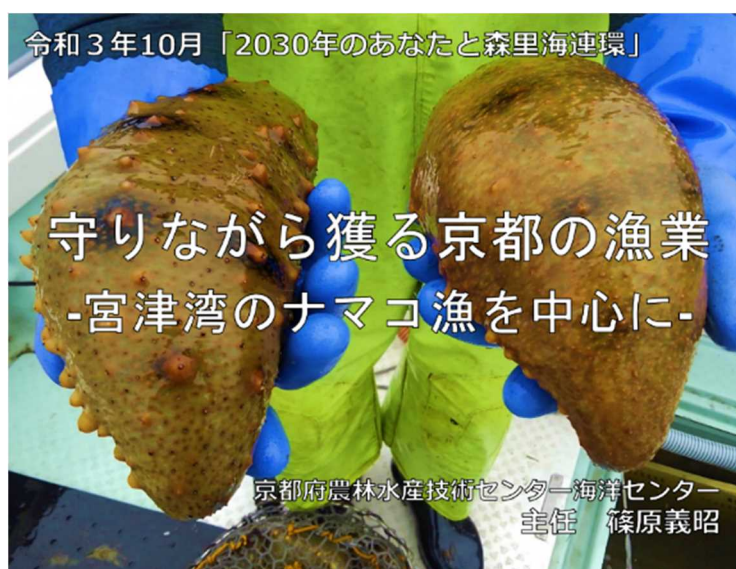
情報

「京大森里海ラボ byONLINE-2030年のあなたと森里海連環」で講演

10月31日(日)に、京都大学フィールド科学教育研究センターが主催する高校生向けのオンラインワークショップ「京大森里海ラボbyONLINE-2030年のあなたと森里海連環」が開催され、全国から14の高校が参加しました。高校生がSDGsの目標年である2030年における地域・社会の理想像を考え、その実現のためにどうすれば良いのかを話し合うことを目的としています。

当センターからは、基調講演として「守りながら獲る京都の漁業-宮津湾のナマコ漁を中心に-」のタイトルで、宮津湾のナマコ桁曳漁での資源管理の実践例をもとに、持続可能な水産業やSDGsとの関わりについて発表をしました。講演後の質疑も活発に行われ、普段水産になじみのない高校生にも資源管理の重要性を伝えられるよい機会になったと思われます。また、グループワークでは、水産業をテーマに議論した班もあり、充実したワークショップになりました。

今後も、このような機会には積極的に参加して、資源管理の重要性について広く発信していきます。



表題スライド